

ハイタカ

(学名：Accipiter nisus)

(写真・文 太田祥作)

【タカ目タカ科】



▲ 幼鳥／全体的に褐色で眉に似た眉斑が目立つ



▲ 雄の成鳥／上空を飛翔する姿は橙色を帯びて美しい

「新春に縁起の良い鷹」として、冬の只見でも観察できるハイタカを紹介します。ハイタカは日本全国に分布する猛禽類の1種です。只見町では通年見られますが、特に冬は、集落や農耕地の周辺に姿を現すため観察しやすくなります。名前は「はしたか」が転じたもので、「疾い鷹」に由来する説などがあります。

大きさはハトと同じくらいで、猛禽類としては小型ですが、小鳥を専門に狩る優れたハンターでもあります。幅が広く短い翼と小柄な体は、飛行中の急な方向転換に対応できるため、障害物の多い林内で敏捷な小鳥を追うような狩りをも可能にするのです。小鳥の群れを観察しているとハイタカが現れ、一目散に群れが逃げていく光景もしばしば見られます。

冬の只見では、餌場や隠れ場所を雪が覆い尽くすため、多くの小鳥は雪の少ない地域へと移動してしまいます。そのため、ハイタカにとっても只見の冬は、餌の少ない過酷な季節であると考えられます。冬に只見で見られるハイタカは、餌を求めて他の地域へ移動中の個体が、入れ替わり立ち替わり観察されているのかもしれません。

只見町ブナセンターからのお知らせ

「ただみ・ブナと川のミュージアム」では下記企画展を開催中です。皆様のお越しをお待ちしております。

企画展「只見の猛禽類」

会 期：2021年12月4日(土)～2022年4月4日(月)

場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー